



大江ノ郷自然牧場 代表取締役

おはらりいちろう
小原利一郎氏

講師プロフィール

鳥取県立商業高等学校を卒業後、県外の専門学校へと進学。社会人となり県外の養鶏場で働くも、近代型養鶏に疑問を感じ、一時サラリーマンへ。その後、平飼養鶏の夢を叶えるため、地元鳥取へと戻り、ただ一人大江ノ郷自然牧場を創業する。現在は、100人以上のスタッフと共に、日本で一番笑顔の集まる牧場を目指して、日々邁進する。

テーマ 「農と食をつなぐ観光地を目指して」～私たちは一個100円の卵から始まりました～

概要 平飼自然卵を「天美卵」として一個100円の卵として全国へと販売。また、地域に根差した六次産業を推進するとともに、自然循環型農業へ取り組む。私たち牧場のテーマは、「農は食、食はいのち」そして「鳥取の素晴らしさを伝えること」。鳥取に来て素晴らしさを知っていただきたい、その思いから直売所「ココガーデン」をオープンし、パンケーキで評判を呼ぶ。昨春には、農と食のナチュラルリゾートをコンセプトにした体験型施設「大江ノ郷ヴィレッジ」をオープンし、鳥取の観光地となることを目指す。



和宗総本山四天王寺 管長

もり た しゅん ろう
森田俊朗氏 (旧姓 大館)

講師プロフィール

昭和17年 大山町生まれ。大山第一中学校、米子東高等学校を経て、和歌山大学経済学部を卒業。昭和40年 日本楽器製造(株)(現ヤマハ(株))勤務、全国各地に赴任する。16年間の社会人生活の後、昭和56年に発心して出家得度。平成7年 四天王寺塔頭中之院住職に就任。四天王寺執事長、四天王寺福祉事業団理事長、四天王寺学園理事長などを歴任し、平成27年4月 総本山四天王寺第112世管長に就任。

テーマ 「悩める聖徳太子」

概要 私の生れ育った大山は神仏習合の霊山です。それが為、人の行き来が多いにもかかわらず自然が豊かに守られ、唯一戦時中に無理矢理植林された落葉松林だけが異様な景観をつくっていました。長い歴史を経て日本人の精神文化や生活様式を形づくった神仏習合は遡れば聖徳太子に行き着きます。太子の遺された十七条憲法を中心に太子の思いとその悩みに触れ、現代という時代の持つ危うさについて考えてみたいと思います。



倉吉市長

いしだ こうたろう
石田耕太郎氏

講師プロフィール

昭和24年8月8日	生まれ	平成14年4月	福祉保健部長
昭和43年3月	鳥取県立倉吉東高等学校卒業	平成18年4月	生活環境部長
昭和48年3月	大阪市立大学法学部卒業	平成21年4月	県営病院事業管理者
昭和54年10月	鳥取県職員	平成22年4月11日	倉吉市長 現在2期目
平成12年8月	境港管理組合事務局長		

テーマ 「災害からの復興」

概要 昨年10月21日、震度6弱の地震に見舞われました。地震による9千件を超える住家被害や農業被害が落ち着かぬまま、今年2月には昭和59年以来33年ぶりの大雪となり、倉吉市として過去に類を見ない大きな災害を経験しました。災害発生時、市として大きな責務を負っている事は勿論の事、地震直後の助け合い、大雪でも隣近所や町内会で助け合う地域コミュニティの力が試されるなど、地域防災の持つ力の大きさを再認識したところです。被災した事で新たに抱えた問題や課題、復興に向けた取り組みをお話します。



江府町長

しら いし ゆう じ
白石祐治氏

講師プロフィール

1959 (昭和34)年	生まれ
1978 (昭和53)年	米子東高校卒業
1982 (昭和57)年	神戸大学法学部卒業
1982 (昭和57)年	鳥取県庁入庁 (企業立地課長、東京本部副本部長、環境立地推進課長等歴任)
2013 (平成25)年	江府町副町長就任
2016 (平成28)年	8月 江府町長就任

テーマ 「3,000人の楽しい町」～奥大山江府町の活性化戦略～

概要 全国で一番人口の少ない鳥取県。その中でも一番人口の少ない江府町。小さな町ですが、小さいからこそその利点を活かし、「住民目線」「当事者意識」「挑戦」を絶えず意識して、持続可能な町を住民の皆さんと作っていきます。そのためには、住んでいる人が楽しいと感じる町でなければいけません。基本的なことがしっかりとできる。その上で、奥大山や江尾十七夜などの地域の資源を磨き、住民が町の誇りを語り、江府町に来られる人を快く受け入れる。「3,000人の楽しい町」を目指す取り組みを紹介します。



エッセイスト

すえ なが かず こ
末 永 和 子 氏

講師プロフィール

第65期米子西高卒業 駒澤大学文学部卒業
カナダは世界第2位の面積と豊富な資源を誇る移民の国。家族をともなう2年半のバンクーバー居住を含めて、毎年カナダ滞在は25年におよぶ。世界各地からカナダへ移住した人々への尽きせぬ関心を懐きながら、現在もインタビューを元にした執筆と講演を中心に活動中。

著書
『扉をあけるとカナダロングステイ850日』(叢文社)
『カナダを耕した家族の物語』(叢文社) 日本図書館協会選定図書

テーマ 「カナダへ移住した鳥取の人々」

概要 鳥取県からカナダへ渡った人々の多くは、弓ヶ浜半島の出身者でした。明治時代にカナダへ渡り、鳥取県からの移住者のリーダーとなった足立儀代松の半生と果たした役割を紹介します。次いで、県出身の移住者の子としてバンクーバーに生れ、カナダで実業家として成功したゴードン・門田氏の事績をたどります。移民の定住問題はすぐれて現代的な課題ですが、鳥取からもカナダへ移住した人々があり、どのような航海の果てにカナダで定着していったのか、ロッキー山脈や赤毛のアンに代表されるカナダの自然を織り込みながら、紹介します。



株式会社ロブテックス 代表取締役社長

じ びき とし ため
地 引 俊 為 氏

講師プロフィール

昭和44年 大阪府生まれ
平成 5年 国際基督教大学教養学部卒業後、ロブテックス入社
平成10年 ロサンゼルス駐在所長
平成16年 執行役員・営業本部海外ブロック長
平成20年 取締役上席執行役員・海外営業本部長
平成21年 代表取締役社長就任
平成26年より生産拠点である鳥取ロブスターツール代表取締役社長を兼務

テーマ 「ものづくりへのこだわり」～Made in Japanを大山町から世界へ～

概要 1888年の創業以来、株式会社ロブテックスは一貫して「ものづくり」に携わってきました。この凡そ130年に亘る歴史の中には様々な紆余曲折があり、時代の変化に対応してきたからこそ今日があります。しかしその一方で変わらないもの、変えてはならないものがあることも事実です。今もおMade in Japanにこだわり、大山町に生産拠点を構える当社の歴史を通して、ものづくり企業としての誇り、そして海外にはない日本独自の「ものづくり」への思いについてお話しします。

鳥取学

出前講座

第29期

講 座 内 容	回	月 日	テ ー マ	講 師
	1	4月20(木) 21(金)	「農と食をつなぐ観光地を目指して ～私たちは一個100円の卵から始めました～」	小原利一郎氏 大江ノ郷自然牧場 代表取締役
	2	5月18(木) 19(金)	「災害からの復興」	石田耕太郎氏 倉吉市長
	3	6月15(木) 16(金)	「悩める聖徳太子」	森田 俊朗氏 和宗総本山四天王寺 管長
	4	7月20(木) 21(金)	「3,000人の楽しい町 ～奥大山江府町の活性化戦略～」	白石 祐治氏 江府町長
	5	8月17(木) 18(金)	「カナダへ移住した鳥取の人々」	末永 和子氏 エッセイスト
	6	9月21(木) 22(金)	「ものづくりへのこだわり ～Made in Japanを大山町から世界へ～」	地引 俊為氏 株式会社ロブテックス 代表取締役社長